

《手 数 料 一 覧》

【登録関係】

平成 27 年 10 月 1 日

申請の種類	申請様式	手 数 料
○登録申請		
新規運転者	第 2 号様式	1, 7 0 0 円
○運転者証交付申請		
新規運転者	第 9 号様式	1, 7 0 0 円
○登録事項変更等届		
Ⓐ 事業者の変更	第 4 号様式	※左記のⒶ、Ⓑ、Ⓓに係る 手数料は運転者証訂正申 請に包括されています。 ※Ⓒは無料です。
Ⓑ 有効期限の変更	第 4 号様式	
Ⓒ 住所の変更	第 4 号様式	
Ⓓ 氏名の変更	第 4 号様式	
○運転者証訂正申請	第 10 号様式	1, 1 0 0 円
○運転者証再交付申請	第 10 号様式	1, 7 0 0 円
○登録消除申請	第 6 号様式	無 料
○運転者証の返納	不 要	無 料
○謄本交付(閲覧)請求	第 7 号様式	4 0 0 円
○経歴証明書交付申請	第 10 号様式の 2	4 0 0 円
○事業者乗務証交付申請	第 14 号様式	1, 7 0 0 円
○事業者乗務証訂正申請	第 15 号様式	1, 1 0 0 円
○事業者乗務証再交付申請	第 15 号様式	1, 1 0 0 円

【講習関係】

講習の種類	摘 要	手 数 料
○新規講習	・ 新規運転者の講習	8, 0 0 0 円
○命令講習	・ 運輸支局からの命令に基づく講習	2, 0 0 0 円 (一科目当り)
○補 講	・ 効果測定の結果に基づく講習	無 料

登録等手数料・受講料の算出

◎登録事務等の手数料の算定方法について

【基本的な考え方】

登録事務等に必要経費の総額

・初期費用として（初年度）〈内訳〉

パソコン2台 250,000円

ラミネーター2台 150,000円

プリンター2台 200,000円

計 600,000円

① 継続費用として（平成28年度で試算）

事務委託費 1件当たり 550円 年間 636,000円（算出根拠別記）※1

貸室料 月当たり 35,000円 年間 420,000円（@35,000×12月）

消耗品費 1件当たり 200円 年間 233,000円（@200×1,165件）

雑費 1件当たり 200円 年間 233,000円（@200×1,165件）

計 1,522,000円・・・①

※1. 事務委託費1件当たり550円の算出根拠

事務担当者年間給与（3名）6,360,000円 事務担当割合を10%と試算すると（636,000円/年）・・・（イ）年間予測取扱件数1,165件・・・（ロ）

（イ）636,000円 ÷（ロ）1,165件 = 545.92円 ≒ 550円

※消耗品としては、運転者証台紙印刷費・ラミネート費・プリンターインク費ほか

※雑費としては、諸帳票類購入費ほか登録事務に係る雑費

② 登録事務に係る総所要時間

事務別	所要時分	平成28年予測取扱件数
登録申請	約9分	120件
運転者証交付・再交付	約9分	150件
事業者乗務証交付・再交付	約9分	5件
運転者証訂正	約6分	800件
事業者乗務証訂正	約6分	70件
原簿謄本の交付・閲覧	約2分	10件
登録運転者業務経歴証明書交付	約2分	10件

計 1,165件

・登録事務に係る総所要時間

（登録申請120件×9分）＋（運転者証交付・再交付150件×9分）＋（事業者乗務証交付・再交付5件×9分）＋（運転者証訂正800件×6分）＋（事業者乗務証訂正70件×6分）＋（原簿謄本の交付・閲覧10件×2分）（登録運転者業務経歴証明書交付10件×2分）＝7,735分・・・②

・登録事務1分あたりの経費

① 1,522,000円 ÷ ② 7,735分 = 196円・・・(B)

・各登録事務別の手数料

事務別	所要時分 (A)	1分当たりの 単価(B)	(A) × (B)	手数料
登録申請	約9分	196円	1,764円	1,700円
運転者証交付・再交付	約9分	196円	1,764円	1,700円
事業者乗務証交付・再交付	約9分	196円	1,764円	1,700円
運転者証訂正	約6分	196円	1,176円	1,100円
事業者乗務証訂正	約6分	196円	1,176円	1,100円
原簿謄本の交付・閲覧	約2分	196円	392円	400円
登録運転者業務経歴証明書交付	約2分	196円	392円	400円

◎講習手数料の算定方法について

【基本的な考え方】

講習に必要な経費の総額

・初期費用として（初年度）〈内訳〉

ノートパソコン1台	100,000円
プロジェクター1台	150,000円
スクリーン1台	50,000円
市販地図20冊	60,000円
計	360,000円

① 継続費用として（平成28年度で試算）

事務委託費	月 26,500円	年間 318,000円	（算出根拠別記）※
貸室料	月 10,000円	年間 120,000円	（@10,000×12月）
講師料	月 30,000円	年間 360,000円	（@10,000×3人×12月）
テキスト代	月 5,000円	年間 60,000円	（@500×120人）
雑費	年間 100,000円	（年間予測）	
計		958,000円	・・・①

※事務担当者年間給与（3名）6,360,000円 事務担当割合を5%と試算したものである。

$$6,360,000円 \times 5\% = 318,000円$$

②講習についての受講者人数の予測について

平成24年新規採用乗務員数 123名

平成25年新規採用乗務員数 134名

平成26年新規採用乗務員数 120名 となっているため、今後の新規乗務員数を年間120名と予測する。・・・②

③講習金額設定について

$$\text{①費用 } 958,000円 \div \text{②受講者数 } 120名 = 7983.33円$$

一人当たりの講習受講料は、8,000円とする。